一般質問（要旨）

住宅リフォーム助成制度で市内業者の仕事創出を

日本共産党昭島市議団　荒井　啓行　議員

質問　公共施設等総合管理計画について、①施設ごとに個別施設計画を策定し、集約するとのことだが、公共施設を全て、個々に検討するのか。②今年2月に行われたワークショップの実施状況は。③地域で利用されている施設は、一定の改修を行いながら利用できることが必要であると考える。存続を希望する市民の声をどう受け止めていくのか。

答弁　①50平方メートル未満の小規模施設等を除いた公共施設や道路、橋梁が対象で、施設ごとに個別の施設計画を策定している。②グループごとに、施設の今後の在り方などについて、活発な議論がなされた。③地域住民の意見を聞き、今後の方向性を検討しながら、理解を深めていきたい。

質問　新型コロナウイルス感染に伴う市内商店、事業者の営業実態と今後の支援策について、①今年8月に実施した市内事業者へのアンケート調査の内容は。②建築業や建設業の仕事創出と、住宅改修のため、住宅リフォーム助成制度の創設を。③暮らしや経済の悪化を解消していくため、消費税を当面5％まで引き下げるよう、声を上げるべき。

答弁　①感染症による影響を調べるため、項目を追加して実施した。約50社のうち34社から回答があった中で、今後の見通しについては83％の企業が悪化するとの回答があった。②コロナ禍における支援策としては理解するが、通常の住宅リフォームに対する補助制度の創設は、財政的に困難性がある。③社会保障の機能強化・維持のためには、なくてはならない安定財源であり、現状では国に求める考えには至っていない。

安心して子育てができる昭島のまちづくりについて

日本共産党昭島市議団　佐藤　文子　議員

質問　安心して子育てができる昭島のまちづくりについて、コロナ危機による深刻な事態の下、①義務教育の保護者負担の軽減を。②学校給食費を無償化すべき。必要な経費を国や都に要望する考えは。③子どもの貧困対策に向け、実態調査に一刻も早く着手すべき。

答弁　①収入が大幅に減少した世帯に対する就学援助の柔軟な対応をすべく、検討を進めている。②学校給食法で食材料費は保護者が負担すると定められており、現時点で要望する考えはない。③国の動向を注視するとともに、調査に向け検討を進めていきたい。

質問　「住民が主人公」の美堀町のまちづくりについて、①国有地をめぐる問題において、住民の意向に基づくまちづくりを、どのように進めていくのか。②住民の声を聞く場を持つべき。

答弁　①国と調整を図ってきたところで、引き続き有償使用による使用許可の状況等を見極めつつ、地域の意見等を踏まえ検討を進めていく。②地域の方から要望があれば、引き続き話を聞き、取り組んでいきたい。

質問　新型コロナウイルス感染拡大を抑止する取り組みについて、①感染状況の情報開示は、あらゆる感染対策の土台となる。検査数や陽性数、陽性率等を地域ごとに出すことが重要では。②感染震源地を把握することが重要である。検査センターにおける検査数を増やすべき。

答弁　①検査数等の情報を個別に公表することは困難であるが、情報提供の拡充に努めていく。②現時点では医療的に検査が必要な方が対象となる。拡充は、今後の国の対応を注視し、検討していきたい。

貝や植物の化石に出会えるよ
（アキシマエンシス内）

平和と市民生活を守る市政について問う

日本共産党昭島市議団　奥村　博　議員

質問　平和と市民生活を守る市政について、①今後オスプレイの増配備等が行われ、航空機の離発着訓練が増えることは明確であり、これ以上の基地機能強化に反対すべき。②航空機の飛行形態が大きく変わり、市東部にも騒音被害が広がっている。固定の騒音測定器についてどのように検討しているのか。③毎年、市役所ロビーで、核兵器の悲惨さを訴える原爆と人間展を行っているが、アキシマエンシスを会場に、市民参加で企画展などを開催すべき。

答弁　①今後も、基地周辺5市1町連絡会との連携を基軸とし、基地に起因する諸課題の解決に向け、取り組んでいきたい。②場所のが、所見は。②熱中症から市民を守るため、お金の心配なくエアコンを購入し、使用できるように高齢者等への助成制度を確立すべき。

質問　高齢者の貧困が進む中、福祉の充実と暮らしを守ることについて、①高齢者のみの世帯が増える中、住み慣れた地域で生活していくには、地域包括ケアシステムの充実が求められる。②場所の特定はできないが、移動調査の騒音測定箇所の固定調査化を検討しながら、特定防衛施設周辺整備調整交付金を財源に調整をしていきたいと考えている。③今年度、都との共催による空襲資料展をアキシマエンシスで開催する予定である。

答弁　①医療と介護の連携、地域のサロン活動の推進等、地域包括ケアシステムの進化・推進に努めていく。②熱中症対策として、高齢者世帯へのエアコン助成制度は一定の効果が期待できるが、財源等の課題があり、引き続き、どのような取り組みが可能か検討していく。

市長が目指す今後のまちづくりについて

自由民主党昭島市議団　三田　俊司　議員

質問　市長は、これまでの4年間、市のかじ取り役、推進役として重責を担ってきた。その市政に対する熱意と行動力、きめ細かい取り組みを非常に高く評価する。今後は新たな将来都市像を掲げ、独自のまちづくりの理念の下で、継続と変革をバランスよく取り入れながらの市政運営を期待する。財政調整基金の取り崩しなどにより、これまで以上に厳しい財政状況が予想される中、住んでいる人、訪れる人や関わる人全てが、昭島のことを大好きと言えるまちへ導いてくれると信じている。今後のまちづくりに向けた想いと意気込みは。

答弁　行財政環境は変化が激しく、大変困難な状況にあるが、目指すまちづくりの実現に向け、決して臆することなく、持てる力の全て を傾注する決意である。住んでみたい、住み続けたい、ここで生業をしたい、生業を続けたい、訪れてみたい、本当に「昭島大好き」と思ってもらえるような、多様性と意外性に富んだ、楽しいまち昭島を、市民と一緒に築いていきたい。

質問　水と緑の昭島市と、市民生活の質の向上について、①次期総合基本計画を策定していく中で、市が誇る水と緑の位置づけは。②用水路の維持管理を行うため、夏場等の職員増員の検討や、有志の団体などに協力を得る考えは。

答弁　①水と緑に恵まれた環境を次世代に引き継いでいくため、環境との共生を普遍のまちづくりの理念として継承していく。②今年度、除草作業の職員を増員した。更なる増員や有償ボランティア制度は課題があるが、可能な限り対応できるよう作業スキームを検討していく。

傍聴される方へのお願い

昭島市議会では、新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、傍聴される際には、以下の４点にご協力をお願いしております。

1. 受付時に非接触式体温計による検温を行います。
2. マスクの着用をお願いします。
3. アルコール消毒液での手指消毒をお願いします。
4. 傍聴席では間隔を空けてご着席いただきますようお願いします。

傍聴席の間隔を空ける対応のため、傍聴席を削減しております。
傍聴を希望される方が席数を超過した場合は、傍聴をお断りすることがあります。
ご理解とご協力をお願いします。

詳しくは、議会事務局までお問合せください。
電話０４２－５４４－４４７６（直通）
または、昭島市議会ホームページをご覧ください。